



2024年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

2023年7月31日

上場会社名 株式会社 ヤマシナ
コード番号 5955 URL <https://www.kk-yamashina.co.jp>
代表者 (役職名) 代表取締役社長
問合せ先責任者 (役職名) 取締役生産本部長兼管理本部長
四半期報告書提出予定日 2023年8月9日
配当支払開始予定日
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東
TEL 075-591-2131

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第1四半期の連結業績(2023年4月1日～2023年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第1四半期	3,072	11.7	94	37.5	107	36.9	46	49.3
2023年3月期第1四半期	2,750	1.2	150	41.2	171	35.1	91	39.4

(注) 包括利益 2024年3月期第1四半期 96百万円 (37.6%) 2023年3月期第1四半期 155百万円 (18.5%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第1四半期	0.34	
2023年3月期第1四半期	0.67	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年3月期第1四半期	17,649	11,776	64.0
2023年3月期	17,340	11,828	65.4

(参考) 自己資本 2024年3月期第1四半期 11,288百万円 2023年3月期 11,341百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期		0.00		1.00	1.00
2024年3月期					
2024年3月期(予想)		0.00		1.00	1.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2024年3月期の連結業績予想(2023年4月1日～2024年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	6,300	12.6	300	12.0	350	20.2	200	27.1	1.48
通期	13,000	9.1	700	7.9	750	10.5	450	3.5	3.33

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2024年3月期1Q	143,611,765 株	2023年3月期	143,611,765 株
期末自己株式数	2024年3月期1Q	8,605,307 株	2023年3月期	8,605,307 株
期中平均株式数(四半期累計)	2024年3月期1Q	135,006,458 株	2023年3月期1Q	136,470,659 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「1.(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(重要な後発事象)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症による影響が緩和してきたものの、原材料価格の高騰などによる世界的インフレや急激な円安などの懸念材料などから先行きは不透明な状況となっております。

当社グループの主要取引先である自動車業界においては、半導体不足の影響は緩和されてきており、自動車各社の生産活動は正常化しつつあります。

このような状況のもと当社グループにおいては、経費削減及び営業力の強化等により業績の向上に努めております。

その結果、当第1四半期連結累計期間の経営成績は、売上高3,072百万円（前年同四半期比11.7%増）、営業利益94百万円（前年同四半期比37.5%減）、経常利益107百万円（前年同四半期比36.9%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は、46百万円（前年同四半期比49.3%減）となりました。

セグメント別の経営成績は、次のとおりであります。

(金属製品事業)

金属製品事業におきましては、受注は堅調に推移したものの、原材料価格等の高騰により、売上高は1,990百万円（前年同四半期比6.3%増）、営業利益は57百万円（前年同四半期比58.2%減）となりました。

(電線・ケーブル事業)

電線・ケーブル事業におきましては、受注が堅調に推移した結果、売上高は398百万円（前年同四半期比4.5%増）、営業利益は26百万円（前年同四半期比66.5%増）となりました。

(不動産事業)

保有不動産におきましては、安定した稼働率の確保に努めており、売上高は60百万円（前年同四半期比7.8%増）、営業利益は28百万円（前年同四半期比12.0%増）となりました。

(化成品事業)

化成品事業におきましては、売上高は600百万円（前年同四半期比40.7%増）、営業利益は48百万円（前年同四半期比53.1%増）となりました。

(その他の事業)

その他の事業については、売電事業から構成されており、売上高は22百万円（前年同四半期比59.5%増）、営業利益は4百万円（前年同四半期比15.5%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

流動資産は、前連結会計年度末に比べて150百万円(1.8%)増加し、8,453百万円となりました。これは、現金及び預金が211百万円、電子記録債権が125百万円増加し、受取手形及び売掛金が223百万円減少したこと等によるものであります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べて158百万円(1.7%)増加し、9,196百万円となりました。これは、有形固定資産のその他(純額)が132百万円増加したこと等によるものであります。

(負債)

流動負債は、前連結会計年度末に比べて384百万円(11.3%)増加し、3,800百万円となりました。これは、支払手形及び買掛金が90百万円、短期借入金が329百万円増加し、流動負債のその他が66百万円減少したこと等によるものであります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べて23百万円(1.1%)減少し、2,072百万円となりました。これは、長期借入金が20百万円減少したこと等によるものであります。

(純資産)

純資産は、前連結会計年度末に比べて51百万円(0.4%)減少し、11,776百万円となりました。これは、その他有価証券評価差額金が21百万円、為替換算調整勘定が14百万円増加し、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上が46百万円、配当の実施が135百万円により利益剰余金が88百万円減少したこと等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年3月期の連結業績予想につきましては、2023年5月8日付の2023年3月期決算短信で公表いたしました第2四半期連結累計期間及び通期の連結業績予想に変更はありません。

なお、当社は、2023年5月25日開催の取締役会において、ヤマヤエレクトロニクス株式会社の発行済株式の取得によりヤマヤエレクトロニクス株式会社を子会社化することを決議し、同日付で株式譲渡契約を締結し、2023年7月3日付で株式を取得したことによりヤマヤエレクトロニクス株式会社を子会社化しております。これにより、ヤマヤエレクトロニクス株式会社は2024年3月期から当社の連結子会社となりますが、影響については現在精査中です。今後開示すべき事項が生じた場合には、速やかにお知らせいたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,092,038	2,303,891
受取手形及び売掛金	2,717,212	2,493,587
電子記録債権	804,229	929,603
商品及び製品	1,169,708	1,258,539
仕掛品	612,095	542,482
原材料及び貯蔵品	752,266	794,568
その他	158,069	133,738
貸倒引当金	△3,298	△3,108
流動資産合計	8,302,322	8,453,302
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,364,748	1,347,121
土地	5,260,793	5,261,846
その他(純額)	1,499,933	1,632,004
有形固定資産合計	8,125,475	8,240,972
無形固定資産		
のれん	16,167	13,614
その他	80,093	101,591
無形固定資産合計	96,261	115,205
投資その他の資産		
その他	825,620	849,512
貸倒引当金	△9,034	△9,214
投資その他の資産合計	816,586	840,298
固定資産合計	9,038,322	9,196,476
資産合計	17,340,645	17,649,779
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,738,812	1,829,462
短期借入金	658,510	988,505
未払法人税等	55,538	51,717
賞与引当金	130,484	167,753
株主優待引当金	11,992	8,934
資産除去債務	70,928	70,928
その他	749,758	683,453
流動負債合計	3,416,024	3,800,755
固定負債		
長期借入金	241,166	220,955
退職給付に係る負債	577,048	568,774
役員退職慰労引当金	49,270	47,360
資産除去債務	43,206	43,263
その他	1,185,397	1,192,033
固定負債合計	2,096,087	2,072,386
負債合計	5,512,112	5,873,141

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	90,000	90,000
資本剰余金	6,433,020	6,433,020
利益剰余金	3,713,384	3,624,767
自己株式	△431,722	△431,722
株主資本合計	9,804,682	9,716,065
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	24,180	45,487
土地再評価差額金	1,429,321	1,429,321
為替換算調整勘定	83,470	97,802
その他の包括利益累計額合計	1,536,972	1,572,612
非支配株主持分	486,878	487,959
純資産合計	11,828,533	11,776,637
負債純資産合計	17,340,645	17,649,779

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)
売上高	2,750,311	3,072,215
売上原価	2,158,951	2,523,151
売上総利益	591,360	549,063
販売費及び一般管理費	440,963	455,062
営業利益	150,396	94,001
営業外収益		
受取利息	1,070	1,073
受取配当金	2,085	2,109
為替差益	14,118	7,009
その他	6,708	6,878
営業外収益合計	23,982	17,071
営業外費用		
支払利息	1,621	1,567
その他	1,663	1,587
営業外費用合計	3,284	3,154
経常利益	171,094	107,918
特別利益		
固定資産売却益	564	682
特別利益合計	564	682
特別損失		
固定資産除却損	54	315
工場移転費用	—	2,680
特別損失合計	54	2,995
税金等調整前四半期純利益	171,605	105,604
法人税、住民税及び事業税	67,025	48,545
法人税等合計	67,025	48,545
四半期純利益	104,579	57,058
非支配株主に帰属する四半期純利益	13,020	10,669
親会社株主に帰属する四半期純利益	91,559	46,389

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2022年4月1日 至2022年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2023年4月1日 至2023年6月30日)
四半期純利益	104,579	57,058
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△3,604	22,066
為替換算調整勘定	54,034	17,530
その他の包括利益合計	50,430	39,597
四半期包括利益	155,010	96,656
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	134,236	82,029
非支配株主に係る四半期包括利益	20,773	14,626

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

記載事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

また、見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、重要な加減算項目を考慮し、法定実効税率を使用して計算しております。

(重要な後発事象)

(取得による企業結合)

当社は、2023年5月25日開催の取締役会において、ヤマヤエレクトロニクス株式会社の発行済株式を取得し子会社化することを決議し、2023年5月25日付けで株式譲渡契約を締結しました。また、2023年7月3日付で株式を取得したことにより子会社化しました。

1. 企業結合の概要

(1) 被取得企業の名称及びその事業の内容

被取得企業の名称 ヤマヤエレクトロニクス株式会社

事業の内容 半導体、電子部品等の販売

(2) 企業結合を行った主な理由

ヤマヤエレクトロニクス株式会社は独立系の半導体商社であり、世界各国の主要都市に有している多くの協力会社と連携し、半導体・電子部品各種製品を、国内企業へ供給しており、大手企業との取引を強化することで、飛躍的に業績を拡大しております。業歴は短いながらも社長である山谷氏の業界経験は長く、培った人脈や情報網による調達力や営業力を武器としており、同社が当社グループに入ることにより、成長性が期待できる半導体事業がセグメントに加わり、当社が取り組む多角化戦略にもマッチするとともに、同社が得意とする販売力により、当社及びグループ会社の様々な製品について販売拡張等のシナジーも期待でき、様々な面で当社グループの企業価値向上に貢献するものと考えております。

(3) 企業結合日

2023年7月3日

(4) 企業結合の法的形式

現金を対価とする株式取得

(5) 結合後企業の名称

変更ありません。

(6) 取得した議決権比率

70%

(7) 取得企業を決定するに至った主な根拠

当社が現金を対価として株式を取得することによるものです。

2. 被取得企業の取得原価及び対価の種類ごとの内訳

取得の対価 現金及び預金 280百万円

取得原価 280百万円

3. 主な取得関連費用の内容及び金額

アドバイザー費用等 25百万円

4. 発生したのれんの金額、発生原因、償却方法及び償却期間

現時点では確定しておりません。

5. 企業結合日に受け入れる資産および引き受ける負債の額ならびにその主な内訳

現時点では確定しておりません。